

氏名	牧野 由理	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	芸術学、美術教育学、美術教育史				
学位	博士（芸術学）				
学歴	1995年千葉大学教育学部、97年千葉大学大学院教育学研究科修士課程、12年筑波大学大学院博士後期課程人間総合科学研究科芸術学専攻				
経歴	2008年東横学園女子短期大学助教、09年東京都市大学人間科学部助教、13年城西国際大学福祉総合学部准教授、16年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	美術科教育学会、大学美術教育学会、幼児教育史学会、日本保育学会、明治美術学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	研究成果報告書 日欧米近代教育掛図比較研究－＜視の教育＞の受容と変容－	単著	なし	埼玉県立大学保健医療福祉学部牧野研究室；P.24	牧野由理	2020.3.
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	東京造画館の掛図に関する研究	単著	あり	美術教育学；41；P.311-322	牧野由理	2020.3.
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	東京造画館の掛図に関する研究(2)	単独		美術科教育学会、千葉市	○牧野由理（新型コロナウイルスのため予稿集のみ発表）	2020.3.
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	研究展示：明治期の幼稚園における図画教育史研究	単独		芸術支援研究の拡がり：教育と社会における実践、筑波大学アートスペース	○牧野由理	2019.4～5
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			日欧米近代教育掛図比較研究－＜視の教育＞の受容と変容－	研究代表者	2017.4～2020.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	アートとコミュニケーション前期		9	映像を活用することで日本の美術の特質や美術史の概観について講義を行った。非常勤講師を支援し授業を円滑にすすめた。		
2	アートとコミュニケーション後期		9	映像を活用することで日本の美術の特質や美術史の概観について講義を行った。非常勤講師を支援し授業を円滑にすすめた。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	芸術活動B（美術・造形）①	○	15	他学科の学生とグループワークを行わせることで、表現の多様性について理解させた。		
2	芸術活動B（美術・造形）②	○	15	他学科の学生とグループワークを行わせることで、表現の多様性について理解させた。		
3	保育表現技術（造形Ⅰ）	○	15	造形の基礎的な技術を学ばせ、表現活動の省察をスケッチブックにまとめさせることで幼児の活動に活用できるようにした。		
4	保育表現技術（造形Ⅱ）	○	15	立体的な表現活動を通して、素材に対する理解を深め幼児の活動に結びつけるようにした。		
5	保育内容・指導法（造形表現）	○	15	オリジナルの絵本の作成や鑑賞、読み聞かせを行わせる事を通して、絵本の魅力について説明した。		
6	保育内容・指導法（表現Ⅱ）		9	子ども向けの劇の作成において、造形的な面で指導を行った。		
7	保育実習事前事後指導ⅠA		4	保育実習で行われる季節に関する事象や行事について指導を行った。		
8	保育実習事前事後指導ⅠB		3	訪問担当の事前事後指導を行った。		
9	保育実習事前事後指導Ⅱ		6	訪問担当の事前事後指導を行った。		

10	保育実習事前事後指導Ⅲ	○	10	施設への理解を深めるための事前指導を行った。実習後は振り返りをさせ報告書の作成指導を行った。
11	保育教職実践演習		2	造形表現活動の模擬授業について指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	保育実習ⅠA		2019.8～2019.9	3年生の担当学生を対象に訪問指導を行った。
2	保育実習ⅠB		2020.2～2020.3	3年生の担当学生を対象に訪問指導を行った。
3	保育実習Ⅱ		2019.8～2019.9	4年生の担当学生を対象に訪問指導を行った。
4	保育実習Ⅲ	○	2019.8～2019.9	実習先の施設との調整を行った。3年生を対象に施設での実習について事前事後指導、訪問指導を行った。
5	教育実習（幼）Ⅰ		2019.9	2年生の担当学生を対象に訪問指導を行った。
6	教育実習（幼）Ⅱ		2019.5～2019.6	4年生の担当学生を対象に訪問指導を行った。
7	ヒューマンケア体験実習		2019.9	担当学生8名の指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導	3名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	修士論文	2019.4～2020.2	副査1名	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	越谷市こころの健康図画コンクール	越谷市	審査員	2019.10.
2	子ども劇場	埼玉県立大学		2019.7
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会		2019.4～2020.3
2	学科等における委員会等	入試実施部会（下部組織 福祉子ども学専攻担当）		2019.4～2020.3
3	学科等における委員会等	有害物質等管理者		2019.4～2020.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス		2019.4～2020.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			